

審判上の確認事項

- 1 本大会は2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則および、2022年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部の6人制ルール取り扱いに準じて行う。リベロプレーヤーは試合ごとに2名まで登録できる。
- 2 プログラムに記載された時刻は試合開始時刻である。
- 3 前の試合終了後、審判員の開始指示から5分間の合同練習をして、プロトコールに入る。
- 4 合同練習におけるボールの使用はパス程度とする。
- 5 トスの際、監督およびチームキャプテンは記録用紙にサインをする。リベロに指名する選手がいる場合、監督はその選手のナンバーだけを記入する。
- 6 公式練習は合同で行う場合は6分、単独で行う場合は3分ずつとする。
- 7 公式練習において、登録されていない選手は、他コートへのボールの侵入を防ぐために防球フェンスとしての役割でコート際へ立つことができる。ただし、監督やコーチへの球渡し、選手への球出し、エントリー選手のパスの相手などは認められていない。
- 8 各コートにはウォームアップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 9 セット間はエンドライン後方のフリーゾーンでのボールの使用を認めるが、パス程度とする。
- 10 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズなど）
- 11 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意すること。また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代選手とタッチ（ハイタッチ）などを行わないこと。
- 12 ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールは速やかに次のサーバーに渡すこと。
- 13 タイムアウトは、ベンチから立ち上がり、コールしながら、オフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求することが望ましい。
- 14 選手交代については、クイックサブスティチューションシステムを採用する。（ナンバーパドルは使用しない）
- 15 試合中のワイピングは原則としてコート内の選手が行う。（ワイピング用のタオルを各チームで準備しておく）モップはタイムアウト中とセット間および審判員が危険と判断した場合のみ使用する。